

提供日 2024/11/21
タイトル プレスリリース（健康イノベーション教育プログラム）
清水のミカンがマグロで育つ
担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学
「ふじのくに」みらい共育センター



静岡県立大学記者提供資料

清水のミカンとマグロの歴史的繋がりと、そこから生まれた持続可能な
循環型事業の事例を、動画資料なども活用して紹介するセミナー

「清水のミカンはマグロで育つ」を開催します

価値観が急速に変化している現在、世界は循環型社会に向かって大きく動いています。そんな中「ブリコラージュ」と「意味のイノベーション」が注目されており、今回これらのキーワードをテーマに静岡らしいイノベーションの形を考えます。

記

◆日時 11月26日（火）午後5時から午後7時30分まで

◆会場 静岡県立大学・草薙キャンパス 看護学部棟4階 13411教室

◆内容 第1部 事例紹介（清水のミカンはマグロで育つ）

青木文優（16代目 青木農園園主）

伊豆川剛史（伊豆川飼料㈱取締役）

ファシリテーター：阪口瀬理奈 / コメンテーター：越前屋俵太

第2部 パネルディスカッション

（循環型社会における『意味のイノベーション』を考える）

青木文優（青木農園）/伊豆川剛史（伊豆川飼料㈱）

谷晃（食品栄養科学部教授）/伊藤圭祐（食品栄養科学部准教授）

酒井敏（グローバル地域センター特任教授・副学長）

ファシリテーター：原清敬（食品栄養科学部准教授）

第3部 意見交換（グループごとに意見交換）

トークセッションを受けて、参加者が考える循環型ものづくりについて、
また持続可能な社会について、意見交換を行います。

◆参加者 定員30名



【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

静岡県立大学「ふじのくに」みらい共育センター

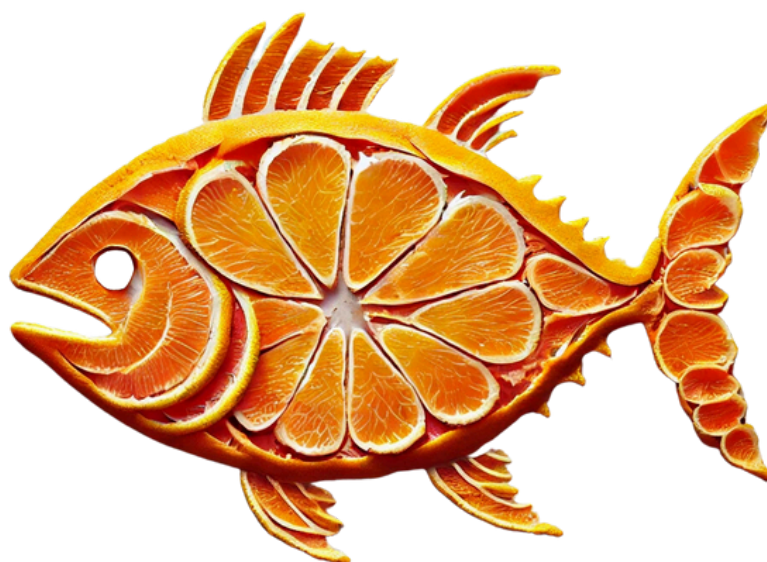
電話：054-264-5441

メール：kenkoshoku（ここに@を入れる）u-shizuoka-ken.ac.jp

令和6年度
静岡県立大学健康イノベーション教育プログラム

清水のミカンは マグロで育つ

循環型社会における『意味のイノベーション』



本プログラムでは、さまざまな分野で活躍している方々をお呼びし、実際の事例や事業成果を基に、将来の静岡の姿について一緒に考えます。イノベーションを起こすために必要な情報や考え方を提供します。

開催日時

11月26日(火) 17:00~19:30

開催場所

静岡県立大学 草薙キャンパス
看護学部棟4階 13411教室
(静岡市駿河区谷田52-1)

※駐車場のご用意はありません。公共交通機関のご利用にご協力ください。

定員

30名(先着順)

対象

社会人・学生

参加費

無料

価値観が急速に変化している現在、世界は循環型社会に向かって大きく動いています。そんな中「ブリコラージュ」と「意味のイノベーション」が注目されており、今回これらのキーワードをテーマに学び合います。



第1部 事例紹介



テーマ

清水のミカンがマグロで育つ

清水のミカンとマグロの歴史的繋がり、そこから生まれた持続可能な循環型事業の事例を、動画資料なども活用して紹介します。

青木 文優 (16代目 青木農園 園主)

伊豆川 剛史(伊豆川飼料株式会社 取締役)

ファシリテーター：阪口 瀬理奈 / コメントーター：越前屋 侖太

第2部 パネルディスカッション

テーマ

循環型社会における『意味のイノベーション』を考える

循環型社会や持続可能な社会づくりに向けて『意味のイノベーション』をテーマに、今後の社会におけるイノベーションのあり方について考えます。

青木 文優 (青木農園) / 伊豆川 剛史(伊豆川飼料株式会社)

谷 晃(食品栄養科学部 教授) / 伊藤 圭祐(食品栄養科学部 准教授)

酒井 敏(グローバル地域センター 特任教授 副学長)

ファシリテーター：原 清敬(食品栄養科学部 准教授)

第3部 意見交換

グループごとに意見交換

トークセッションを受けて、参加者が考える循環型ものづくりについて、また持続可能な社会について、意見交換を行います。

【問い合わせ先】

静岡県立大学「ふじのくに」みらい共育センター

TEL : 054-264-5441

mail : kenkoshoku@u-shizuoka-ken.ac.jp

お申込はこちら

